

1. 成功の定義

成功の定義は様々である。一言で言うのは難しく広い範囲に亘っているものであると思う。成功という何かビジネスでの成功やお金持ちになることというのを連想してしまうが、実際は「良い生活することすべて」であると思う。収入や経済的な自立も成功の一部であり、個人の目標や夢を達成することも成功の一部であり、幸せな良い家族関係や友人関係を築くことも成功の一部である。実際にビジネスで成功してお金持ちになった多くの人と言うには、幸せとは、未来にあるものではなく、「今」にあるものということである。何か成功すると、そこに「幸せ」があるような気がするが、実際は「今」が幸せでない人は、金持ちになっても「幸せ」ではないそうである。未来は「今」の積み重ねであるので、「今」を幸せに生きることが大切である。私が考える「成功の定義」は、お金で測るのではなく、「どのような人物になったか」によって測るものであると思う。外側のものではなく、人間の内側の心に何があるか、どのような思いがあるかの方が重要である。例えばビジネスでも、真の成功は、お金だけではない。本当にお客さまのためを思って、お客さまのためになりたいとやってやっているか、がポイントである。お金や物などの物質的なものは無くなる可能性があるし、あの世には持っていくことができないが、「心」は無くなることはないのである。ビジネスの仕組みの素晴らしさは、お客さまの役に立つことと、利益を得ることがイコールになっていることである。儲かっている会社は、人々の役に立っていない会社である。私のメンターは、「成功の大きさは、他人に与えた幸福の量と深さの総和である」と教えてくれた。素晴らしい教えであると思う。ビジネスを始める前に、成功の定義について考えることは、きわめて大切なことである。

2. 成功したい理由

アメリカのモテュベーターで有名なジム・ローンは、ビジネスの成功で一番大切なものは、その人の「成功したい理由」が正当で十分であることと述べている。多く人は、「成功したい理由」がしっかりしていないため、成功の道のりの途中で挫折してしまう。ジム・ローンの成功して、お金持ちになりたいと思った理由が非常に面白い。彼は 24 歳のとき、自宅にいて、ガールスカウトの訪問を受けた。かわいいガールスカウトの女の子が、2ドルのクッキーを売っていた。もちろん彼女はボランティアで、売上は良いことに使われる。ジム・ローンは買ったかったが、そのときポケットの中には一銭もなかった。そのことを言いたくなかったので、彼はとっさにウソを付いた。「僕はもうガールスカウトのクッキーをたくさん買ったんだよ。まだ家にたくさんあるんだ。」そのとき彼女は「素晴らしいわ。どうもありがとう。」と言って立ち去った。彼女が立ち去ったあと、ジム・ローンは自分自身にこうつぶやいた。「もうこんな生き方はいやだ。ガールスカウトにウソを付くなんて、なんて次元が低いんだ。そんなことは、最低なことだ。」この日以来、ジム・ローンは固く決意した。「ポケットいっぱいにお金を持つために今すぐ努力して、どんなことでもできるようにしよう！そうすれば私がどこにいようと、私の残りの人生で、何人ガールスカウトの子が来ようとも、彼女たちが何枚クッキーを売らなければならないとして

も私は全部買うことができる。」この出来事が大きなきっかけとなったのである。何か高邁な理想を掲げたわけではない。しかし、ジム・ローンがスタートをきるには十分な理由、十分な刺激となったわけである。

3 . すべての人が豊かになれる

ビジネスの素晴らしいところは、人々に役立つことがイコール利益になるということである。利益を得ると誰かが不幸になるわけではない。利益を得ると誰かが幸せになるのである。「心のチキンスープ」で有名なマーク・ビクター・ハンセンは、次のように言っている。「成功はすべての人に十分なだけある」。要するに経済の世界の仕組みは「弱肉強食」ではないということである。ゼロサム社会などという言葉もあるが、誰かが得をしたら、誰かが損をするということではないのである。短期的に見て、そのように見えることもあるかもしれない。しかし、長期的に見たら決してそうではないのである。終戦直後の日本と今の日本の状態を考えてみると分かる。いくら不況とは言え、戦争が終わった直後に比べれば、はるかに日本中が豊かになっているのである。もし、弱肉強食やゼロサム社会であるならば、ものすごく豊かになった人がいる一方で、終戦直後よりももっと貧しくなった人が増えているはずである。豊かになった人と貧しくなった人を合計して平均を取ったら終戦直後と同じ豊かさになっていなければならない。でも実際はそんなことはないのである。結局、富というのは際限なく豊かにあるのである。バスケットボールのマイケル・ジョーダンのケースも、彼の年棒があがったおかげで、他の選手の年棒のレベルも上がった。多くの人はお金持ちになることに罪悪感を感じている。「私がお金持ちになることで、不幸になってしまう人が出てくるに違いない。」そのように感じて無意識に成功にブレーキをかけてしまうのではないだろうか。「成功はすべての人に十分なだけある」のである。

4 . 自分自身の哲学を持つ

皆さんは、自分自身の仕事における「哲学」を持っているだろうか？自分自身の健康における「哲学」は持っているだろうか。人生の「哲学」はどうだろうか？もし持っていなければ、イメージした理想の人生を歩いていくことは難しいと思う。健康は何もしなくても、運よく病気にならず、長生きできると考えている人が多い。しかし、現実には、予期せぬ事態が起きて、後悔することがある。私は、「健康の哲学」を持っている。健康はエネルギーであると定義している。いつもエネルギーに溢れる状態で生活をしたい。そのために、口に入れるものに気をつけている。酒・タバコは飲まない。午前中は果物を食べる。昼と夜は野菜・サラダを中心に食べる。胃に負担をかけないように、そして夜8時以降はなるべく食べないようにしている。なるべく水分を取る。毎朝40分くらい散歩している。週に最低2回はジムに行って運動する。これが私の「健康の哲学」である。ジム・ローンのビジネスの哲学は、「仕事のために働くのではなく、自分自身のために働く」ということである。彼は、もし収入を2倍・3倍にしたければ、その収入を受けるに自分自身がふさわしいかどうか、それを受ける資格があるかを考えてみることを勧めている。もし、資格がないのであれば、まずは、自分自身がふさわしくなるように、お金を得ようと思うのではなく、自分自身を変えることに力を注ぐように言っている。これが彼の哲学であ

る。もし、人生に自分自身の哲学がなければ、あなたは自分の人生を生きることができない。他の人の哲学の中で生きることになるのである。

5 . 最高の哲学

多くの人々が「お金持ちになりたい」「億万長者になりたい」と漠然と思っている。しかし、「なぜ、お金持ちになりたいのですか？」と聞くと、ほとんどの人がハッキリとした答えを持っていない。ある人は「好きなことをしたいから。」と答える。しかし、「好きなことって何ですか？」と聞き返すと、答えに詰まってしまう。ある人は「好きなものを買いたいから。」と答える。しかし、「好きなものって何ですか？」と聞くと、「洋服かなあ？」「では、好きな洋服を全部買うのに、どれくらいのお金があればいいの？」「10万円もあれば・・・」それだけだったら億万長者にならなくてもいいのである。ではどうすればいいのか？ジム・ローンは「CONVERSATIONS WITH MILLIONAIRES」という本の中で、ジム・ローンが、これまでの人生の中で聞いた、最高の哲学を紹介している。「億万長者になるという目標を達成するために、それを達成することによって、どのようなあなたになるかという目標を設定してください。あなたが学ばなくてはならない才能のために目標を設定してください。あなたがなくてはならない人物のために目標を設定してください。あなたがビジネスを学び、時間管理や人間関係を身に付け、人々と働くことによって得られる喜びを学ぶことのために目標を設定してください。あなたの利己心が、どれくらい抑えられるかに気付く可能性のために目標を設定してください。慈悲深くなることについて、また強くなるのと同じくらい優しくなることについて学ばなければならないことのために目標を設定してください。あなたが学んだこと全て、そして、あなたが形作った全ては、億万長者の地位にたどり着くために重要なことなのです。1億円、すなわち「お金」が重要なものではありません。もしあなたがそのようにして、一度、億万長者になってしまえば、あなたはそのお金を全て寄付してもいいのです。なぜなら、本当に重要なのは、そのお金ではないからです。最も、大切なことは、あなたがどんな人間になったかなのです。」ロバート・キヨサキ氏の『金持ち父さん貧乏父さん』以降、本当にたくさんの「金持ち本」「リタイヤ本」が出てきている。「早く金持ちになって、その後の人生を謳歌しよう！」だいたいがそういう内容である。しかし、「どう謳歌したいのか？」「具体的に何をしたいのか？」が明確でないから、ほとんどの人は、その先に進めないのだと思う。繰り返すが、正当で十分な「理由」がないのである。だから、お金そのもののために億万長者を目指すのではなく、その過程の中で、自分自身を高めることができるから、億万長者になる、というこの「理由」は、なかなか素晴らしい理由であると思う。ビジネスを通して、様々なスキルを身に付け、人格を高め、その結果、多くの人に喜びを与えられる人になることができれば最高だと思う。

(参考文献：CONVERSATIONS WITH MILLIONAIRES)